

●後期基本計画が目指す姿

やさしさあふれる「わ」のまち ひかり

「やさしさ」とは、時代の要請に応じた一つひとつの政策を通じて、市民誰もが健康で安心して暮らし、生活のあらゆる分野で心から幸せや満足を実感できる地域社会を実現するとともに、良質の都市基盤や自然環境などの固有の地域資源を土台として、まちの魅力をさらに高めていくことです。

●まちづくりの基本

3つの都市宣言の理念を基調とする

本市の3つの都市宣言は、言わば、まちづくりの本質である「やさしさ」が明文化されたものであり、まちづくりの根底に染み渡る、普遍、不朽の理念です。このため、3つの都市宣言に掲げる理念を基調に、個性と魅力のあるまちづくりを推進します。

おっぱい都市宣言
平成17年6月30日

自然敬愛都市宣言
平成18年3月23日

安全・安心都市宣言
平成20年9月22日

3つの都市宣言の理念を基本に、次の視点をもって、今後5年間のまちづくりを進めます。

- 1 新たな価値、新たな満足を生み出す
- 2 自助・互助・共助・公助の調和を図る
- 3 3つの「わ」（対話・調和・人の輪）から、まちにやさしさを導く

未来創造プロジェクト 選択と集中の観点から、重点的かつ戦略的に展開する7つの政策を示します。

ひかり未来指標 4つの基本目標ごとに、代表的な政策指標31項目を示します。

基本計画各論 分野別の52政策、182施策、423事業と目標指標165項目を示します。
※事業は、行動計画の改定に合わせて年次的に見直しを行います。

財政計画 計画の実効性を確保するための財政フレームを示します。

地域別整備計画 4つの地域別の振興方向を示します。

光 市 民 憲 章

わたくしたちのまち光市は
美しい自然と輝かしい歴史をもつ
希望のまちです。
わたくしたち光市民は
その名のごとく
光あふれる理想のまちとするために
この憲章をさだめます。

- 1 ふるさとを自然を愛し
花と緑の豊かな まちをつくりましょう

- 1 ごころとからだをきたえ
文化のかおる まちをつくりましょう

- 1 あたたく互いに助け合い
笑顔のあふれる まちをつくりましょう

- 1 たのしく働き ものを大切に
活力のある まちをつくりましょう

- 1 きまりを守り 人をとうとび
しあわせな まちをつくりましょう

平成17年10月2日制定

未来に伝えたい風景

市民の皆さんから募集したまちづくり・
フォトコレクション「未来に伝えたい風景」
の入賞作品18点を中心に、ふるさとの
素晴らしい風景をご紹介します。
※()内は撮影場所

●わかば児童館 (虹ヶ浜海岸)
●有金ヒロシさん (島田川河川公園)
●西崎孝一さん (牛島)
●田村光政さん (島田川河口東岸)
●小松いずみさん (大和総合運動公園)
●岩崎康治さん (冠山総合公園)

●吉河蒼衣さん (流江小学校)
●金本美起さん (光スポーツ公園)
●中村千寿さん (象鼻ヶ峠)
●田村光政さん (島田川河口東岸)
●小西富喜子さん (オートキャンプ場)
●大濱哲之さん (周防旭橋付近)

●松田寿雄さん (室積海商通り)
●渡辺美沙さん (梅田病院)
●小西富喜子さん (県道162号線展望台)
●小川優花さん (虹ヶ浜海水浴場)
●山本健次郎さん (流江一丁目 島田川)
●稗田慶子さん (大和総合運動公園)



〒743-8501
山口県光市中央六丁目1番1号
光市政策企画部企画調整課
TEL:0833(72)1400(代表)
http://www.city.hikari.lg.jp/

～輝く未来の創造に向けて～

「光」比類なき自然、誇るべき歴史、

そして、そこに息づく穏やかな暮らし。

私たちのまちは、数え上げれば切りがないほど、
その名のごとく光輝く多くの「宝」に恵まれています。

私たちの最大の使命は、
このまちの輝きを確実に次代へとつないでいくことです。
そのためには、今を生きる私たちが、持てる力の全てを
結集して取り組んでいかなければなりません。

このため、後期基本計画では、厳しい時代の中であっても、
より戦略的なまちづくりを進められるよう、
選択と集中の観点から「7つの未来創造プロジェクト」を掲げ、
まさに「今、必要な政策」を絞り込みました。

今後は、計画に掲げる政策・施策・事業という一本一本の縦系に、
「やさしさ」の横系を時に大胆に、時に繊細に織り込み、
活力と魅力に満ちあふれた『やさしさあふれる 「わ」のまち ひかり』を、
市民の皆様とともに紡ぎ上げてまいります。

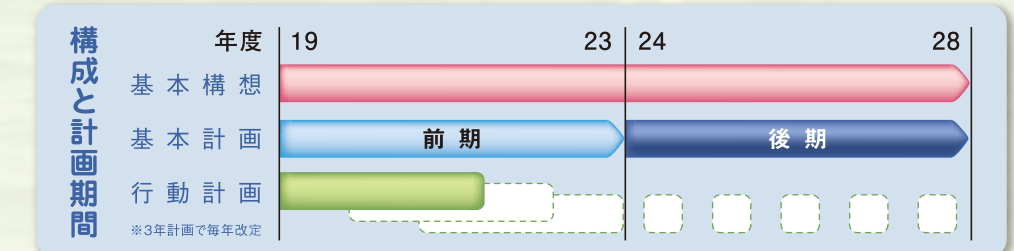
さあ、道標はできました。「チーム光市」の奮闘を結集し、
このまちに根付いた信頼の絆の上に輝く未来をともに切り拓きましょう。

平成24年3月

光市長 市川 熙

後期基本計画とは…

後期基本計画は、10年計画である光市基本構想を踏まえて、平成24年度から28年度までの5年間に
取り組む政策の方向性や基本的な施策等を明らかにするものです。計画の着実な推進により、市民
一人ひとりが「幸せ」や「満足」を心から実感できる「やさしさ」にあふれた光市の創造を目指します。
後期基本計画では、目標実現のためのプログラムを、政策・施策・事業という体系に沿って整理すると
ともに、優先的かつ重点的に取り組む政策を「未来創造プロジェクト」として位置付けます。



プロジェクト

1

ふれあいで絆を紡ぐコミュニティ創造プロジェクト



地域の主体的なコミュニティ活動を応援します

- (仮称)室積コミュニティセンターの整備
- 各地区における地域コミュニティ活動の拠点機能の充実
- 地域づくりの中核を担う、新たな地域コミュニティ組織づくりの推進
- 自らの考えやアイデアを活かした地域コミュニティ活動への支援
- 地域づくり支援センターの充実と、自主的・主体的な市民活動の支援
- 市民と行政が対等な立場で取り組む、協働事業の充実

プロジェクト

2

健やかで確かな安心地域包括ケア創造プロジェクト

地域包括ケアシステムの構築を進めます

- 介護や医療、生活支援サービスなどが円滑に連携した、包括的・総合的なケアマネジメント体制の構築
- 大和総合病院における慢性期医療や予防医療の充実、回復期リハビリテーション病棟の設置
- 高齢者の権利擁護と認知症支援策の充実
- 地域包括支援センターの機能強化
- 地域包括ケアシステムを支えるサービス体制の充実
- 高齢者を地域で支える福祉ネットワークの構築



プロジェクト

3

家庭と地域で包み込む温もり子育て創造プロジェクト



家庭の養育力を高めます

- 妊産婦・乳幼児訪問や各種相談事業など、総合的な母子保健の推進
- ワーク・ライフ・バランスの普及啓発など、子育てと仕事の両立の支援
- 家族の団らんの輪を広げ、ふれあい促進や子育てに関わる負担の軽減、様々な知恵や知識の伝承など、多くの利点が考えられる多世代同居、近居の促進

地域の子どもは、地域で育てます

- 放課後子ども教室や留守家庭児童教室(サンホーム)の充実
- コミュニティスクール指定校の拡大
- 保育園、幼稚園を拠点とした地域とのふれあい、交流活動の促進
- 子どもたちの校外活動や地域活動、社会参加機会の充実

やさしさあふれる「わ」のまち ひかり を目指して

7つの未来創造プロジェクト

後期5年間のまちづくりを戦略的かつ効果的に進めるため、特に優先して取り組む政策を「7つの未来創造プロジェクト」として位置付けます。

「3つの都市宣言」の理念等を踏まえたこれらのプロジェクトに沿って、今後、選択と集中の観点から集中的な取組みを展開し、期間内で一定の成果を目指します。

プロジェクト

4

人と自然が共生するエコロジー生活創造プロジェクト

自然エネルギーの導入を加速し、低炭素社会づくりに貢献します

- 住宅用太陽光発電システム設置への支援
- 公共施設への太陽光発電システムや太陽熱利用システムの導入
- 未利用のエネルギー資源の活用検討
- 省エネ型街路灯への転換など、省エネ製品の導入促進

「もったいない」の輪をひろげ、循環型社会づくりに貢献します

- 子どもから高齢者まで、各世代に応じた環境学習の推進
- 物を大切にする、「もったいない文化」の普及啓発
- 家庭用品のリユースを支援する不用品交換システムの充実
- エコショップ認定制度の充実など、小売店や事業者が取り組むごみの発生抑制やごみの減量化、再資源化の促進と支援
- 家庭ごみの約40%を占める生ごみのリサイクルの推進



プロジェクト

5

地域力で災害を防ぐ安全なまち創造プロジェクト



地域の力を活かした防災・減災を進めます

- 地域の自主防災組織の育成と消防団員の確保
- 「地域防災計画」の見直しや、各種防災マニュアルの充実
- 防災研修、防災訓練の実施
- 各種ハザードマップの活用と津波ハザードマップの作成の検討
- 災害時要援護者の避難援助対策の確立

災害に強いまちをつくります

- 災害情報を発信する防災行政無線の整備と消防救急無線デジタル化の推進
- 災害危険個所の点検、整備
- 学校施設やライフラインの耐震化の推進
- 災害時の防災拠点となる市役所本庁舎の耐震診断の実施や、避難所の確保、整備の推進

プロジェクト

6

里の^{くりや}厨と光の海から始まる 活力ある第六次産業創造プロジェクト

「里の厨」を中心に、地域農業を活性化します

- 地産地消の促進による、農産物の消費拡大
- 農産物の学校給食をはじめとした業務利用の促進
- 農産物のブランド化の推進
- 認定農業者やエコファーマー、農業後継者の育成支援
- 全国のモデルとなる次世代型農業生産構造の確立



光の海が育む資源で、水産業を活性化します

- つくり育てる漁業と資源管理型漁業による水産資源の保護・管理
- 漁港施設の機能強化
- 地産地消の促進による、水産物の消費拡大
- 水産物のブランド化の推進
- 県や漁協等との連携による新規漁業就業者の育成支援



「里の厨」で第六次産業化を推進し、新たな活力を生み出します

- 付加価値の高い商品開発や新たな流通チャネルの確立など、「里の厨」を中心とした新たな地域活力の創出
- 「里の厨」を活用した障害者の豊かな体験の場づくりや、キャリア形成の支援
- 子どもたちが地域の食文化や農業の役割を学ぶ食農教育の推進
- 季節に応じた様々なイベントの開催や、「食」や「農」を楽しむツーリズムの推進
- 無(減)農薬栽培や堆肥の活用など、環境保全型農業の推進

プロジェクト

7

コンパクトシティによる快適空間創造プロジェクト



誰もが安心して住み続けられる、快適で便利なまちを目指します

- 大和支所などの公共施設の整備や再配置のあり方等の検討
- 市営溝呂井住宅の非現地建替え
- 道路整備の段差や暗がりの解消など、安心できる居住環境の整備
- 空き店舗等を活用した、地域コミュニティ活動の場の創出
- 大和総合病院の一次医療の確保と、慢性期医療やリハビリを主体とした病院への整備
- JR岩田駅周辺の土地区画整理事業など、良好な住環境のあり方の調査・研究